

# 第6回

## 立川市長期総合計画審議会

令和6年5月13日

立川市総合政策部企画政策課

## 第6回立川市長期総合計画審議会会議録

開催日時 令和6年5月13日（月曜日） 午後7時00分～午後8時40分

開催場所 立川市役所 209会議室

出席者 [委員] 朝日ちさと（会長）、松浦司（副会長）、芦澤清八、片岡滋、川口哲生、甲野毅、小林優貴、篠原俊博、田所佳洋、辻本愛子、長井琢英、平澤豊、福永毅、萬田和正、宮本直樹、大塚正也（敬称略）

[事務局] 渡貫泰央（企画政策課長）、矢島和晴（企画政策課連携推進係長）、柏崎彩花（企画政策課連携推進係）、夏目互（企画政策課長期総合計画統括等担当係長）、中野利佳（企画政策課長期総合計画統括等担当係）

(朝日会長)

それでは、時間になりましたので、第6回立川市長期総合計画審議会を開会いたします。

本日は、お足元の悪いところ、またこの夜の時間になりますけれども、本当に今日もお集まりいただきありがとうございます。

本日の次第は、報告事項1件と審議事項2件ということで、もうお手元に届いているかと思いますが、いよいよこの基本構想の答申案がまとまった形で出てきているということで、本日は今まで様々ないただいた意見の御確認という趣旨の会になるかと思いますが、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、まずは事務局から配付資料の御確認をお願いいたします。

(渡貫企画政策課長)

本日もよろしくお願いいたします。

それでは、資料の確認をさせていただきます。まず、事前配付した資料といたしまして、資料1から7という形で御配付させていただいたと思います。また、本日、当日配付資料といたしまして、「第5次長期総合計画策定スケジュール」を机上配付してございます。よろしいでしょうか。

そして、事前に確認いただいております資料の6から7の議事録につきまして、修正がなければ、本日、この場で確定をさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。特に修正等はございませんでしょうか。

それでは、議事録のほうも確定のほうをさせていただきます。

以上となります。

(朝日会長)

ありがとうございました。

## 議事

### 1 報告事項

#### (1) 審議会のこれまでの振り返り

(朝日会長)

それでは、早速、次第に入っていきたいと思います。まず、報告事項(1)「審議会のこれまでの振り返り」について、事務局から御説明をお願いいたします。

(渡貫企画政策課長)

こちら、資料1になります。「長期総合計画審議会の到達点・これまでの振り返り」でございます。

「1.本審議会の到達点」は、これまでも申し添えておき、四角にあるように、「未来ビジョン(将来像)」重視すべき基本的な理念・考え方を答申する。」「まちづくりコンセプト(都市像)」具体的なまちづくりコンセプトを答申する。」「政策」各政策分野の具体的な取組方針を答申する。」ということが本審議会の到達点としてございます。

「2.これまでの振り返り・本日の到達点」でございます。下の第5回のところを見てください。ただきたいんですが、「(1)答申の示し方(概要・体裁)」についてまず御意見をいただきました。「(2)答申案(「未来ビジョン」の理念や考え方・具体的な「まちづくりコンセプト」案に対する意見)」ということで、そこに対しまして様々な御意見をいただいたところでございます。

第6回、今回が最終回になりますが、前回いただいた御意見を踏まえまして、答申案の内容を、まず意見反映状況の確認をしていただきます。そして、前回、お示しが間に合わなかった政策の取組方針のところ、そこについて本日は最終的に御意見いただければと思っております。

こちらについての説明は以上となります。

(朝日会長)

ありがとうございました。資料1について、これまでの振り返りと今回の位置づけについて御説明をいただきました。

この点について御質問はありますか。よろしいでしょうか。

それでは、ありがとうございました。

## 2 審議事項

### (1) 答申書案について

(朝日会長)

次第2に移りたいと思います。次第2、審議事項2件となります。

「(1) 答申書案について」です。前回の審議会の御意見を参考に、事務局で修正をいただいた答申書案が資料2として示していただいております。まず、この答申案を御覧いただきます。7ページ目までが「まちづくりコンセプト(都市像)」についてとなっております。ここでは7ページまでの修正内容などについて御説明をお願いしたいと思います。

では、事務局、お願いいたします。

(渡貫企画政策課長)

こちらのほうの答申案の修正のところでございます。まず、見開きのところ、答申にあたっては、朝日会長より前書きを賜っております。目次というふうな形になってございます。

実際に1ページ目でございます。まず、前回の「1 基本構想策定における基本的視点」のところ、「(1) 基幹的な市民サービスの方向性について」の部分でございます。こちらにつきましては、前回、理由を前に記すことによって、分かりやすくなるだろうというような御指摘を踏まえまして、文章の前後を入れ替えてございます。

2ページ目でございます。2ページ目のところにつきましては、網かけがあるように、前回、「稼げる」というような文言につきましてはもう少し表現を考えたほうがいいのではないかとということで、表記のとおりさせていただいております。

3ページ目、「(2) 立川市の特徴」をどのように生かすべきか。また、どのような価値を新たに創り出すべきか」といったところの認識でございます。こちらにつきましても、前回の御指摘を踏まえまして、「立川駅北口」というのは「ファーレ立川地区」であったり、あとは、スポーツを軸としたまちづくりということで、「さらなる大きな可能性があります」というような表現にさせていただいたり、あとは、下のほうの段落、3段落目でございますが、こちらにつきましては市が主体的な形での表現がいいということで、「人を集める」とか「集めた」というような表現がいいのではないかとということで、その表現にさせていただきます。

続きまして、4ページ目です。「2 基本構想について」の「(1) 未来ビジョン(将来像)について」でございます。こちらについては、「未来ビジョン」を策定する上で重視する理

念ということで、前回、(多様性・包摂性)、あとは(連携・協働)、(主体性・独自性)、また(持続可能性)というようなお話の中で、そこを一言で分かりやすいような表現にしていたほうがというようなことで様々な御意見をいただいたところでございます。前回の御意見を踏まえまして、(多様性・包摂性)につきましては「優しさにあふれる」というような一言での表現と、あと、(連携・協働)は「共に創り出す」、(主体性・独自性)については「時代に挑む」、(持続可能性)については、特に現状よりも発展させていくんだというようなニュアンスから、(発展・継承)ということで「次代に引き継ぐ」というような文言とさせていただいたところでございます。

あと、5ページ目のほうも、前回、御指摘を踏まえた中での修正です。

6ページ目のところ、「次代に引き継ぐ」のところにつきましては、現状よりもよりグレードアップした形で次世代に引き継ぐというような意味合いを表現という形で盛り込ませていただきました。

7ページ目でございます。こちらの「(2)まちづくりコンセプト(都市像)について」まずは前回、性格と、親和性というようなお話でしたけれども、性格でまとめたほうがより本市の独自の色を出せるのではないかというような御意見が多々ございましたので、今回、性格ごとに[市民サービス(くらし/福祉/まちの基盤)]、[まちの魅力(まちの価値)]、[自治体運営]というような視点からコンセプトを表現させていただいてございます。その際、戦略として強調する表現がよいのではというような御意見も踏まえまして、少し言い切った形の表現でさせていただいてございます。中の文言につきましても、各委員からの御指摘を踏まえた中で可能な限り修正をさせていただいたところでございます。

8ページ目以降は、前回、お示ししていなかった政策分野の分野ごとの内容となっております。一旦はこの7ページ目まで、前回の御議論を踏まえた中での修正の説明は以上となります。

#### (朝日会長)

御説明をありがとうございます。

よろしいですか。

#### (事務局)

本日、欠席の森林委員のほうから御意見をいただいておりますので、この場でちょっとご紹介をさせていただければと思います。

大まかな意見としましては、前回、性格でまとめる案と親和性でまとめる案というのを「(2)まちづくりコンセプト(都市像)について」案について示させていただきましたが、森林委員からは、この性格でまとめるという、今回、お示ししているほう、こちらの案がとてもよいということで御意見いただいております。

理由としましては、横断的にまとめること、これを市民ワークショップのほうから希望していたと。この都市像は、ほかの自治体にはない立川市らしさが表れた画期的でとてもよいコンセプトだと思いますということをまず御意見いただいております。それ以外に、表現であったりとか、また、文言の修正など、幾つかいただいておりますが、こちらにつきましては、また、朝日会長と最終的な調整のときに参考とさせていただければと考えております。

以上です。

(朝日会長)

ありがとうございました。

それでは、今の御説明を踏まえまして、前回の審議会の御意見を取りまとめて事務局で答申書案を修正いただいたということで、その内容も見え消しの形で示していただいています。

それでは、1ページの「1基本構想策定における基本的視点」から7ページの「(2)まちづくりコンセプト(都市像)について」までの各項目の修正内容について御意見をいただきたいと思います。先ほどお話がありましたように、8ページ以降はまた次の議題になります。御意見いただく時間がございますので、その前の7ページまでについての御意見をいただければと思っております。よろしく願いいたします。

(渡貫企画政策課長)

資料3と資料4は前回までの皆さんの御意見をまとめた内容のものです。そちらのほうも御参考をお願いいたします。

(朝日会長)

ありがとうございます。

3と4は結構ボリュームがありますね。発言について全て見て、チェックして反映していただいていると。よろしく願いいたします。

(平澤委員)

大変よくまとめられていて感心しました。別に意見ということではなくて、今のお示しいただいた4ページの「(1)未来ビジョン(将来像)について」の3番目の「時代に挑む」というところなんですけど、「主体的にチャレンジできる」と書いてあるところの2行目の「時代」とありますけど、資料4の4ページ2行目、同じところを見ると「次代」になっているんですね。次の代になっているんですけど、それはどちらが正しいですか。

(渡貫企画政策課長)

すみません、資料4のほうが間違えていますので、今の資料2のほうの「時代をリードする」というほうで、すみません、申し訳ございません。

(朝日会長)

「ジダイ」が2つ出てくるんですね。資料2の4ページの答申案のほうが正しいということですね。

御指摘ありがとうございます。

ほかに御確認、お気づきの点ございましたらお願いします。

辻本委員、お願いします。

(辻本委員)

何点かまとめてよろしいですか。

(朝日会長)

もちろん。

(辻本委員)

まず、1ページ目なんですけど、「(1)基幹的な市民サービスの方向性について」の3段落のところ、「同時に、市が示す」というところなんですけど、ここの「40年後の令和47年の本市の社会環境を想像すると」から始まる文章の中で、「生産性を向上させていかなければ、令和17年以降もサービス水準を維持することが極めて困難となることが予想されます」と

いう形で示されています。何となく言わんとしていることは分かるんですけど、令和47年の社会環境の想像のところから、「令和17(2035)年以降もサービス水準を維持することが極めて困難」というところに何か一文入ると、令和47年のこういう推計からすれば、令和17年も同じような形で考えられるので、サービス水準を維持するためには生産性の向上が必要なんですよというような、何かもう一言、説明の文章が入ったほうがつながりがいいんじゃないでしょうかというのが1点目です。

次、2点目なんですけれども、2ページ目のところで、上から3行目の「具体的には、子育て施策に力を入れることにより」という段落の部分なんですけど、恐らくこの「具体的には」というのが前の段落を引いて、「そのため、次の10年の間にDXによるサービス転換を進展させ生産性を向上させつつ」というところから「経済的な力をつけることが必要です」というところを引いて「具体的には」になっていると思うんですけども、この「具体的には、子育て施策に力を入れることにより」から「地域の新たな担い手として活躍している環境が必要となります」というのが、恐らくこの上の段落の「人口流入を促進し地域の担い手を増やす」という部分ですかね。「本市の魅力を一層向上させ、人口流入を促進し地域の担い手を増やす」ということ具体例だと思うので、少しこれ、「具体的には」でここを持って来るんだとしたら、もうちょっと上の段落全体のところにかかるように、「経済的な力をつけること」とか「DXによるサービス転換の進展」とかというところを具体例の中に盛り込んだほうがいいんじゃないかなというのが2点目です。

もう一つ、同じこの「具体的には」の中の「さらには立川在勤・在学者が地域の新たな担い手として活躍している環境が必要となります」というふうにあるんですけど、これは、多分、アクティブシニアが活躍するということには「社会参加を促進する」というところで、アクティブシニアを創出するための、市としてはこういうことをやっていきたいというようなことが書いてあると思うんですけど、立川在勤・在学者が地域の新たな担い手としてなるためには市としてこういうことをしていこうと思いますというのがここにはないので、もしかしたらそこが入ってくるとよりよいのではないかなというふうに思いました。

次の3ページ目の(2)のところで、「また」から始まる段落、2段落目のところなんですけど、「プロスポーツチームの拠点が増え、スポーツを軸としたまちづくりはさらなる大きな可能性を秘めています」が「大きな可能性が秘めています」になっているんですけども、多分、大きな可能性を秘めていることと大きな可能性があることはほぼ同義なので、どちらかという可能性というふうに締めるよりも、既にそういう形が醸成されてきているでしょというところを委員の中でもうちょっと示したらどうかというのが前回のお話だったような気がするんで、例えば「軸としたまちづくりとしての形が形成されつつある」とか「これがまさに発展していく可能性を秘めています」とかという形で、もう既に出来上がっている部分もあるんだけど、もう少し発展の可能性はあるんじゃないでしょうかという形に持っていったほうがいいんじゃないかなと思いました。

あと、5ページ目なんですけれども、①の「優しさにあふれる(多様性・包摂性)」のところ、「すべての人が様々な違いをお互いに認め合い、コミュニケーションを深めていくことにより、地域で一人ひとりが幸せを実感できる地域社会に」というところを、「地域社会」と「地域」がかぶるので、何となく手前の「地域で」を消しても語感がいいんじゃないかなというふうな気がします。

最後なのですが、7ページ目の(2)の「コンセプト2[まちの魅力(まちの価値)]」の本文の部分で、「立川に住む人だけでなく、立川を訪れる誰もが」のここが「立川を」ですかね。てにをはで言うと「を」のほうが据わりがいいのではないかなというふうに思いました。

(朝日会長)

ありがとうございました。丁寧に見ていただいて本当にありがとうございます。

事務局から、この御指摘いただいた点について何かありますか。

最初のところ、文章が長いですね。ずっとつながっていて、ちょっと分かりやすさの点から言うと確かにと思います。ほかのところも、御指摘、理解します。

表現のところであったり整合性のところかと思いますが、御対応可能でしょうかというところで、事務局、いかがでしょうか。

(渡貫企画政策課長)

いろいろ文字の表現、また、文字の伝わり方といったところで御示唆いただきましたので、そこについては可能な限り分かりやすい表現の形で修正のほうを図ってまいりたいと思います。

(朝日会長)

ありがとうございます。

篠原委員、お願いいたします。

(篠原委員)

1ページ目の(1)のところ、矢印がついていますが、どう読めばいいのか。この矢印に従うと、「同時に」から始まるんですかね。(1)の文章。矢印ないならまだ分かるんですけど、矢印ない状態ならしっくりくるんですが、矢印があるために非常に混乱をしているという。

(事務局)

すみません、大変失礼いたしました。

こちら、矢印のところなのですが、もともとはこの矢印の後ろの色がついている部分がこの矢印の部分にあったというところで、これを前に持つてくることによってこの状況をまず、その背景を説明しているというニュアンスになっております。ですので、最終的な文章の完成版としては、今、ここに書いてあるとおりのことになりますので、この矢印はもともとあった場所から移動しましたよ、そういう表現になっております。

(篠原委員)

分かりました。

それと、7ページの「コンセプト2」の本文で、ここの表現は、2行目です。「立川を訪れる」、「人や企業が出会い、つながり」というのは分かりやすいんですけど、ここに「立川を訪れる誰もが人や企業に出会い」となっているんですけど、立川を訪れる誰もが、立川に在住している人や立川にある企業に出会うというような意味に変わっちゃっているように見えるんですが、こんな変える意味があるのかなという。

多分、企業も主体の一つだと言いたいんだと思うんですけど、「立川を訪れる誰もが出会い、つながり」でもいいような気がするんですけど、そこが分からなくなってしまう感じがありました。

(朝日会長)

ありがとうございます。

そうですね、確かにちょっと。

(渡貫企画政策課長)

今、篠原委員がおっしゃったように、ちょっと意図が逆に変わってきてしまっているの  
で、そこについては元の表現をちょっと工夫してまいりたいと思っております。

(朝日会長)

ありがとうございます。御指摘、ありがとうございました。

ほかに気になる点、お気づきの点ございますか。

平澤委員、お願いいたします。

(平澤委員)

今の7ページの「(2) まちづくりコンセプト(都市像)について」の「未来ビジョンの  
実現に向けた」以降の文章ですけど、ほかのところは全部一文でまとまっているのに、こ  
こは2つの文章になっているところがぶつ切りの感じがしてしまうので、「未来ビジョン  
の実現に向けた自治体の戦略として「まちづくりコンセプト」を」の後ろに、「政策ごとでは  
なく、「市民サービス」以降の文章を入れて、「大局的な視点で方向性を次のとおり示しま  
す」の一文にしちゃったほうがいいんじゃないかなと思うんですね。「戦略として明確に打  
ち出すため」とわざわざ入れなくても、今の文章を入れ込めば戦略として明確に打ち出し  
ているということが分かると思うので、この文書は要らないかなというふうに思います。

(朝日会長)

ありがとうございます。

ここもちょっと表現として冗長かなというところの御指摘ですね。

(渡貫企画政策課長)

ありがとうございます。

(朝日会長)

ありがとうございます。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次に答申書の8ページから10ページのほうに移りたいと思います。「(3) 未  
来ビジョン実現のために(政策方針)」に進みたいと思います。

こちらについて、事務局から御説明をお願いいたします。

(渡貫企画政策課長)

こちら、8ページ目でございます。具体的な大きな政策分野ということで、これまでは  
5つの政策分野だったんですが、より市民に分かりやすい形の政策分野、ある程度イメー  
ジしやすいようなカテゴリーの中で、今回、13の政策分野としてまとめさせていただい  
てございます。それに基づいての取組方針でございます。

1つ目の「市民の暮らし」といったところでございまして、市民がまず市役所に来ての  
窓口といったところをイメージした中での、そういったところの暮らしに関する政策。

2つ目が、今回、「危機管理」といったところで、直近の能登半島地震、また、熊本地震、  
東日本大震災といったような、近年、顕著となっているような自然災害に対する安全安心、  
または、市民が安心して暮らせるための環境といったところを重点的に取り組みというこ  
とで、今回、「危機管理」というようなところの政策を新たに初めて立ててございます。

あとは、これからの「都市づくり」といたしまして、これまでの基盤的なところを含めて都市づくりの政策。

「環境」といったような、今の時代を反映した中での環境政策といったところを政策として推し進めていくために一つ立ててございます。

「子ども・子育て」、「教育」、「保健・医療」ということで健康、あとは「社会福祉」というような視点の政策。

今回、少し特徴的なのが、立川市の特徴としては交通結節点を踏まえた産業の大きな特徴がありますので、「産業まちづくり」というような一つ政策分野を新たに立てているところでございます。

続きまして、10ページ目でございます。こちら「文化・スポーツ」ということで、こちら立川の特徴といたしまして、地域に根差したこれまでの文化芸術、伝統文化、それに生涯学習等を踏まえて、大きな視点での文化を一体的にやることによって、政策として実施していこうということで「文化・スポーツ」とさせていただきます。

市政全体の調整、または戦略的な方針を進めていく「総合戦略」。

人、物といったところを適正に運営していく効果的な仕組みを基幹的な部分として「行政運営」の政策。

本市の一つの特徴である「収益事業」ということを一つ政策として立てた13分野で取組の方向性を示させていただいたところでございます。

これらの意見の内容につきまして、取組方針につきましては、先ほどお話しした資料4で、これまで皆様の御意見を踏まえた中から文言をこちらのほうでまとめさせていただいたところでございます。最終的には、この政策方針に基づいて、この基本構想の下に、今度、基本計画というのが出てきますけれども、そういった行政計画のほうに生かしていく大本な方向性というふうな形での位置づけでございます。

説明については以上となります。

**(朝日会長)**

御説明、ありがとうございます。

これまでの市民ワークショップや、資料4にあるような審議会の意見などを参考にしながら、庁内でも各所管での議論もいただいた中でこの政策方針を作成いただいたという内容ということでした。

それでは、8ページから10ページまでの政策方針について御意見をお願いできればと思います。

宮本委員、お願いいたします。

**(宮本委員)**

この政策の下に分野別計画がぶら下がったりとか、各課の政策、施策がぶら下がるんだろうと思いますが、社会教育、生涯学習の観点で質問させてください。

この政策のどこにそれが入ってくるのかなというのを考えると、10ページの一番上の「文化・スポーツ」【取組方針】の中に「市民の文化芸術や生涯学習、地域に根ざした活動への積極的な参加・交流による幅広い学びを支援するとともに」とありまして、これが学習館でのサークルなどのコミュニティ活動のことを指しているのかなと思うんですが、ただ、私は社会教育、生涯学習の立川での肝になるのが、実はそれだけではなくて、例えば9ページの2つ目の「教育」【取組方針】の部分の下から2行目の後ろ半分です。「協働的な学

びの実現を図るとともに、地域とともに歩む学校づくりを進めます」とありまして、これ、地域学校協働本部事業のことを指しているのかなと思いますし、まさに学社一体の取組というのは大変重要かと思います。これはこっち側に来ているんですね、「教育」側に。

そして、もっと言うならば、9ページの下から2つ目の「社会福祉」【取組方針】の中で、「協働を進めるため地域活動の担い手などを支援するとともに、市民が主体的に地域生活課題の解決に参画・協働する仕組みづくりを推進します」とあります。これはまさに立川市民科の考え方と合致するわけです。この立川市民科も、非常にこれからの10年、社会教育、生涯学習の中では肝になるところだと思っておりまして、これが3つの政策に分断されているような感じに私には映るんですが、そのこのところは、あまり分野別計画とこの政策というのは1対1にならない形になるのかな。その辺のところを教えていただきたいと思います。

**(渡貫企画政策課長)**

基本的には、1対1というよりは、全ての政策とか施策は、今の時代は連携した中で分野横断的にやる事業というのは非常に多くなってございますので、主な取組の方針としてはこういうような表現をさせていただいてございますが、実際の事業のところにつきましては、引き続き連携した中での取組にはなってくるかというふうには考えてございます。

**(宮本委員)**

分かりました。ありがとうございます。

**(朝日会長)**

ありがとうございます。大事な御指摘であり、御説明かと思います。ありがとうございます。

ほかにはございますでしょうか。片岡委員、お願いいたします。

**(片岡委員)**

9ページの「子ども・子育て」のところで、ここに、少子化対策というのは重要だと思うんですが、その文言を入れるようにしたほうがいいかなと思うんですが、ちょっと入れ方が難しいかもしれないんですけど。

それと、「保健・医療」【目的】のところで、「健康づくり、維持・増進」なんですが、私たち歯科なので、「歯と口の健康」ですとか、そういう文言を入れてほしいと思っています。今の子どもというのは平均値の90歳ぐらい行くんで、90年間使える歯というのにしていかないといけないと思っています。今、8020といって80歳で20本ある方、もう50%いますから、そういう意味からも、将来を見て「歯と口の健康」という文言を入れてほしいと思います。

あと、「保健・医療」のところで、「早期発見」とか「重症予防」ですとかそういう文言をぜひ入れて欲しいかなというふうに思っています。糖尿病の方など、重症化しちゃうと透析とかになるんですけど、透析になってしまうと医療費というのは大変かかってしまう。そういう事から「早期発見」とか「重症予防」という文言を入れて欲しいと思います。

以上です。

**(朝日会長)**

ありがとうございます。

そうですね、文言のところというのはなかなかこの後に、計画のところに入ってきたり、どこで、どの段階で入ってくるかというのは難しいところかと思うんですけども、そこ

も含めて事務局のほうで御検討をお願いしたいと思いますが、そういうスタンスでよろしいでしょうか。

御指摘、ありがとうございます。

**(渡貫企画政策課長)**

全体的な政策のレベルが、あとは、その下の、先ほど少し言った、この後に個別計画であったり施策レベルの、今、この下には、60ぐらいの施策を皆さんの御意見を踏まえた中で施策を考えているんですけども、そこら辺のレベルの文言かどうかを含めまして、またちょっと調整させていただけたらと思ってございます。

**(朝日会長)**

ありがとうございます。対象としてはきちっと入っているということを確認しつつ、表現を検討していくということで、ありがとうございます。

ほかにはございますか。平澤委員、お願いいたします。

**(平澤委員)**

8ページの「環境」【取組方針】のところで、一番下の行で「脱炭素や資源循環を推進します」、これ自体はいいと思うんですけど、短絡的にやられてしまっただけで困るなという思いがあるんです。なので、「多角的視点に基づいて」とか、そういった文言を入れてほしいかなというふうには私は感じました。「多角的視点に基づいた脱炭素や資源循環を推進します」という形だと、短絡的に、例えばカーボンニュートラルだからEV導入しますみたいな、そういうふうには考えてほしくないという意味なんです。

それと、もう一つ、10ページの「収益事業」【取組方針】「本場への」、ホンバ、ホンジョウ、ちょっと読み方分からないですけど、いきなり書いてあるんですけど、私、最初、これ、読んだときによく分からなかったんですけど、公営競技、立川の公営競技というときと競輪のことなんです。なので、いきなり、これ、本場（ホンジョウ）というんですかね、という言葉が入っていると何のことかなというように思ってしまうので、立川競輪だと分かるように書いたほうがいいんじゃないかなと思いました。

以上です。

**(朝日会長)**

ありがとうございます。

そうですね、ここの表現については、考え方の点と、あと、対象の点と2つあると思うんですけども、特に考え方の点については変わってくところもあるかと思えますし、対象についてはくっついてくる政策のところとの分担というところもあるかと思えます。

今、御指摘いただいたことについて、大丈夫でしょうか。検討対象ということで。ありがとうございます。

ほかにはございますでしょうか。福永委員、よろしくをお願いいたします。

**(福永委員)**

「子ども・子育て」というところなんですけども、今までずっと審議会ないしは市民ワークショップのほうで話し合われてきた中で、いわゆる子どもの定義でもないんですけど、中学生とか高校生を対象にした文言というのが全く含まれていない。要は、これにも書いてあるように「妊娠期から出産、子育てを途切れなく支援し」というところまでは書いてあるんですけども、これだと、じゃあ、それ以降の中学生、高校生は含まれるのか。市民ワークショップでもいろいろな意見を出していただいたと思うんですけども、単語と

いうのか、説明まで必要なのか分かりませんが、この中に含まれるのではないのかなと思います。

「教育」【取組方針】のところ、やはり子どもの生きる力が出るんですけど、あくまで学校視点での文言になっているんですね。最後にちらっと「地域とともに歩む学校づくりを進めます」と。これは学校視点で言っているだけの話なので、地域、家庭、学校という、そういう連携という表現が残念ながらどこにも出てこなかったのかなと。

要は、子ども、中学生、高校生という青少年の育成の場をどうするのかということが、多分、施策、細かいことでは出てくるんだと思うんですけども、この大きな政策の中に表現としても出てこないのは残念だなという気がします。

以上です。

ちょっと戻ってもいいですか。

(渡貫企画政策課長)

はい。

(福永委員)

ちょっとさっきから気になって議事録とか見ていたんですけども、前のところの話になってしまいうんですけど、この間、篠原委員がおっしゃっていたと思うんで、「寄り添う」という表現があって、その御指摘があったと思うんですけど、それがすごく頭に残ってずっと見ていたんですけども、これ、あのときには、多分、前回会議ですか、市長がそういうことを掲げられていたので、終わっちゃったんですけど、上から下に向かって言う言葉になってないかどうかというのがすごくそれ以降、気になっていたんで、そこは、一応、御確認いただいたほうが、2か所ほど今回の中にも出てくると思うので、捉え方によっては、そういう捉え方をする方がいるのであれば言い換える必要があるのかなという気がします。

以上です。

(朝日会長)

ありがとうございます。

戻ってというふうにおっしゃっていますが、8ページのところにも「寄り添い」という、「市民の暮らし」のところにも出てきますよね。「寄り添う」という表現の議論のところをどのようにというところの御指摘、質問と、あとは、子ども、青少年のお話でした。

こここのところの検討ということになるかと思いますが、今の段階で事務局の方から御説明あればお願いいたします。

(渡貫企画政策課長)

「市民に寄り添い」といったところの一番出てくるのが「コンセプト3」のところであって、ここ、自治体運営というような、自治体が政策、施策を進めていく上での姿勢、態度といったところを示しているといった形になるので、あくまで自治体としての姿勢としてはこういう形の、根底の理念の中に入るからいいというようなところもあるんですけども、一旦はその姿勢としての意味合いとして、戦略として文言を使わせていただいているところがございます。

あとは、8ページのところの「市民の暮らし」。ここにつきましては、表現については若干この前段のところも事務局としては少しいかがかなというように改めて思っているところがありますので、困りごとを抱える市民というだけに限定してしまうというののもいかが

かなというふうな思いもありますので、こちらにつきましては少し表現等、また修正等をしてまいりたいと思っております。

(朝日会長)

ありがとうございます。御懸念のところ、御懸念の意図のところと照らし合わせて御検討いただければと思います。ありがとうございます。

田所委員、お願いします。

(田所委員)

「危機管理」のところで、「立川駅周辺の体感治安の向上」ってあるんですけども、私の感覚で言うと、体感治安というのがあまりよく分からない。あとは、立川駅周辺って何だろう。こうやって出ているということは、よっぽどとんでもないことなのかという感じがちょっとだけ気になっている。

あと、全体としては、これから先、市が各課全部総出でもって具体的な政策をするわけだから、その中身をこれに全部盛り込めるわけがなくて、とても文言としては難しいんだろうなと思いますし、その辺をどの辺の案配でするかというところはもう事務局に頑張ってくださいというぐらいしかないのかなと思います。全体的にはとてもよくできているなと思っています。

以上です。

(朝日会長)

ありがとうございます。

1つ目、特に1つ目ですね。お願いします。

(渡貫企画政策課長)

ありがとうございます。なかなか体感治安というのが、市民に分かりにくいというような表現のところは、また違う形があるかどうかというのを確認していきたいと思います。

こちらに載っているのは、以前、「立川市来街者意向調査」とかでも御紹介させていただいたように、立川駅周辺を訪れる人はどういうふうに見ているかといったときには、一番この辺が、立川のウイークポイントの一つだというふうには調査やアンケートに出てきたところを表現させて頂きました。今後10年をかけた中では一番取り組むべきことの一つだろうということで載せています。表現については、本当に分かりやすい表現があるか、再度、また検討させていただきたいと思っております。

(田所委員)

ありがとうございます。

(朝日会長)

ありがとうございました。

ほかにあればお願いいたします。長井委員、お願いいたします。

(長井委員)

「産業まちづくり」のところなんですけども、苦勞して文章を作っていたんでありがたいんですけども、結構ボリュームのある内容で、商工業の件があって、都市農業の件があって、交通機関を含めたインフラの件とか、3つ大きな要素が入ってきています。そのところもう少し分かりやすく、具体的なところはこの下の政策のところで行っていただければと思うんですが、もう少し盛り込んで、3行、あともう一行ぐらい何か入れていただきたい。そもそも公共交通機関などは、移動手段を構築して、じゃあ、

何をしたいのというのがちょっと分かりにくかったので、例えばバスですとか、電車もそうですけども、そういうものを使いながら町に出てきてもらって、町の中を、くるりんバスなんかもありますので、回遊性を、回遊カーみたいな形の文章が少し入ってくると、交通機関に関しては少し、何でここに入ってきたのというのが分かりやすいかなと思います。

商工業、農業に関しましては、もう少し推進しつつ何したいのというような感じで、少し具体的な文言が入ってくるとうれしいかなと思います。

よろしくお願いします。

(朝日会長)

ありがとうございました。そうですね、公共交通を入れての新たな区分でもあるということでしたので、少し丁寧にとこの御意見かなというふうに思います。ここも御検討いただくということで。

(渡貫企画政策課長)

はい。

(朝日会長)

ありがとうございます。

すみません、宮本委員、お願いします。

(宮本委員)

今回、政策方針13示していただいて、13、大体、この下もこんな施策だな、この事務事業評価のことだなんて想像がついたんですが、一つだけ、8ページの一番上の「市民のくらし」【取組方針】が4行あって、最初の2行は分かりました。先ほどの課長の御説明の中でも、これ、窓口の話というお話がありました。下の2行が何のことを指しているのか、ちょっと想像がつかなかったんで、ここだけ、具体的に何の事務事業のことを言っているのか教えていただきたいのと、ちょっと想像がつかない現状があるので、表現をもう少し分かりやすいのをに入れていただいたほうがいいのかなと思いました。

(朝日会長)

ありがとうございます。

このところは、御質問ですね。よろしくお願いいたします。

(渡貫企画政策課長)

これまでの審議会、市民ワークショップを含めまして、本当に多様な主体というところで、外国人を含めて、または、多様な性の問題も含めて、誰もが活躍できるというようなところの政策であったり、あとは、この暮らしといったところにつきましては、市民協働的な意味合いのものがこちらには入ってくるのかなというふうに考えているところでございます。これが少し分かりにくいといったところにつきましては、また、表現等、工夫をしてみたいと考えてございます。

(朝日会長)

よろしいですか。

(宮本委員)

分かりました。ありがとうございます。

(朝日会長)

ありがとうございます。

萬田委員、お願いいたします。

(萬田委員)

「危機管理」【取組方針】の2行目で、「誰もが地域で安心して生活ができる地域の防犯を強化するとともに」って書いてあるんですけども、これは「防犯活動を強化するとともに」じゃないでしょうかね。そして、「体感治安の向上を進めます」ということです。こちらの「防災・減災対策を進めます」って、ちゃんと対策というふうに出ていますので、この防犯についての「防犯活動を強化する」のほうがいいのかな、こういうふうに思います。

(朝日会長)

ありがとうございます。御指摘事項かと思えます。ありがとうございます。

松浦副会長、お願いいたします。

(松浦副会長)

ちょっと順番のところが気になりました、「市民の暮らし」はやっぱり総論的なものでいいと思うんですけど、次、いきなり「危機管理」という、何となく将来のビジョンなのにいきなり「危機管理」と言われると、もうちょっとポジティブなものを先にやったほうが、子育てとか、教育とか、そういった、将来、やっぱりこうよくなるんだみたいところがまず先あって、その次に「危機管理」をもってくる。いきなり「危機管理」というのはちょっと何か、大事な話ではあるんですけども、若干ネガティブなところが先に来ているというのが少し気になりました。「子ども・子育て」、「教育」、「保健・医療」、「社会福祉」、その辺のほうの、将来、こんなよくなるんだみたいなところを先にやったほうが、ビジョンとして据わりががいいのかなというふうには思いました。

以上です。

(朝日会長)

ありがとうございます。

ここ、順番については何らか御意見も出ていますけども、事務局としてはありますか。

(渡貫企画政策課長)

今日、実際にはちょっと示せなかったんですけど、人が入ってきた場合の、ペルソナ、いわゆるストーリー仕立てで政策を並べていこうというような方向性を持っていたんです。今回そのストーリーを出し忘れちゃったんですが、その部分は十分考えた中でストーリー立てでの政策の中身というのは順番を考えていきたいと思っています。

(朝日会長)

分かりました。ストーリー、想定があると。

(渡貫企画政策課長)

いわゆる人が転入してきた後に、どういう一生でその生活を送っていくのかというような形の、いわゆる漫画チックじゃないですけど、人の生活の一生をここでストーリー仕立てした中で政策の順番というのをちょっと立てていこうというふうに、今現在考えているところです。だから、流動的というふうに思っただけであれば結構です。

(朝日会長)

御指摘、御説明ありがとうございました。よく分かりました。

(松浦副会長)

そういう状況は分かりましたんで。

(朝日会長)

ほかによろしいでしょうか。甲野委員、お願いいたします。

(甲野委員)

甲野です。よろしくお願いいたします。

非常にきめ細かく答えをいただきありがとうございます。私がいろいろと環境について、社会環境について述べたので、非常に丁寧に対応していただいております。

一方、社会環境、脱炭素をはじめとする社会環境問題だけじゃなく、自然環境というものもあり、今までの市民ワークショップですとか、様々な意見の中で、立川市の自然というのが、様々なものが基盤となっているという意見があり、それに対応しているかと思うんですけども、一方、自然活動というのは、人が利活用するだけではなくて、自然環境、都市であったら自然環境って保全しなければいけないわけです。それは、今、環境省だけでなく、建設省の中でもグリーンインフラとか、言葉で非常に重視されています。

そういったことがどこにうたっているのかなというふうにちょっと目を凝らしてみても、やはり「都市づくり」【取組方針】の中のこの「都市機能と自然環境が調和する」というところに含まれているんだろうなと思いつつも、これ、どうもやっぱり人間が利用するだけで、生物多様性ですとか、そういうところまで補填するというのが含まれてないのかなというふうに、私自身はそのように解釈をしてしまいました。

どこに入るのかなという、やっぱり「環境」のところに入るんだろうなと思っているんですけども、「環境」のところ非常にしっかりと書いていただいたんで、あまりこのところに自然環境のことまで入れてしまうと長くなるとは思いつつ、どこかその辺りで「自然環境の保全」ということを入れていただければありがたいというお願いになります。

以上です。よろしくお願いいたします。

(朝日会長)

ありがとうございます。

ここは、表現としては立てているけれども、意図としてというところの御質問、御指摘ですがいかがでしょうか。

(渡貫企画政策課長)

先生御指摘のとおり「環境」のほうでの含みになりますが、ちょっと文言的に工夫していけるように頑張っていきたいと思います。

(朝日会長)

ありがとうございます。

篠原委員、よろしくお願いいたします。

(篠原委員)

先ほどのお話ですとストーリーがあるということなので、ストーリー、ちょっと想像しながら、そういうことかを見ていました。

「行財政運営」、「総合戦略」ここはストーリーの一部ではないということなのか、ストーリーを見ていないんで何とも言えないんですが、普通、「総合戦略」って全体の上位概念に来るんですけど、かなり下位に来て、何でなんだろう。「総合戦略」で書いている内容が、効果的、効率的な行財政運営という感じで、「行政運営」とかぶっちゃっているんで、これ、何で2つあるんだろうと。「行政運営」でまとめてもいい感じがあるけど、「総合戦略」というのをつくらなくちゃいけない理由か何かがあるのかな。であれば、もうちょっと総合戦略的なことを書いてもいいのかなと思いました。

ただ、「行政運営」【取組方針】って、皆さん、審議会場で言っていらっしゃらないこ

とが書いてある。「公共調達の適正化や公共サービスの品質の確保」というところです。「品質の確保」はいいんですけども、「公共調達の適正化」をあえて言っているのは何ででしょうか。これは第4次で書いてあったんでそのまま書いていて、これ、大事なことなんで外せないということなのかなと思いつつ見ていました。次に「収益事業」が突然入ってきて、これも審議会、どこにも言葉がないのに入ってきたのは、ステークホルダーとのいろいろな調整の中でこれは出てきたのかなとか思ったりとかしてしまっていて、もしストーリーが最後まであるのであれば、最後、「収益事業」で締めるのかなみたいな、競輪が最後のフィナーレのかなみたいな、そういう想像もしちゃうんです。

以上、御質問です。

**(渡貫企画政策課長)**

「総合戦略」以下は、あくまで行政運営の中の一環という形で、ストーリー自体につきましては「文化・スポーツ」までというふうな形で今は想定をしています。なので、「総合戦略」以外については、行政が事務を執行していく上での方向性と運営の適正化のところ、あとは、最後の「収益事業」のところは「行政運営」にも一部含まれているようなところもあるんですけども、本市といたしましては、この競輪事業というのは大きな強みとしてこれまでもやってきたところがございますので、あえてちょっと太くお出ししているといった状況でございます。

以上でございます。

**(朝日会長)**

ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

**(篠原委員)**

「公共調達の適正化」というのは何かがあったことがあるんですか。

**(渡貫企画政策課長)**

これは、前からというか、第4次のときとあったところの意味合い。

**(篠原委員)**

はい、たまたま議論をして。

**(渡貫企画政策課長)**

「行政運営」のところにつきましては、ここの審議会等を含めまして、大きな意見というのはちょっと少なかったというようなところもございますので、あくまで事務局として、今回、「行政運営」で必要なところの文言、この後、施策とか事務事業につながってまいりますので、その内容を漏れなく入れておいたほうがよかろうということできせていただいたところがございます。

以上でございます。

**(朝日会長)**

ありがとうございます。位置づけのほう、説明いただきました。

ほかにもございますでしょうか。片岡委員、お願いいたします。

**(片岡委員)**

9ページ「保健・医療」、先程のところの追加みたいな感じですが、よその市であった言葉ですが、「様々なライフステージに応じた食育」、あと、「口の健康に関する普及啓発及び健康寿命の延伸に向けた健康づくりの取組を推進します」というような言葉もあるんで、

そういうふう上位のところちょっと入れ込んでほしいかなと思っています。

以上です。

(朝日会長)

ありがとうございました。これはちょっと表現の検討事項でお願いをいたします。  
ほかにはございますか。

(大塚委員)

1点だけすみません。

(朝日会長)

大塚委員、お願いいたします。

(大塚委員)

事務局のほうで作っている文章なんですけれども、一旦、今、見た中で「市民の暮らし」、【目的】のところなんです、基本的にはここ、全ての市民というふうな意味合いで捉えていったほうがいいのかというふうに思っていますので、様々な課題を抱える、課題を持っている市民だけではなく、全ての市民というような形で、この「寄り添い」というところの表現も含めて、表現は修正をさせていただければというふうに思います。やはり「市民の暮らし」というところですので、立川市民全体というところをしっかりとターゲットといいますか、そこに対してどういうふうに行行政側として動いていくのかというふうにさせていただければと。

公平公正を遵守というのは、これ、当たり前なので、こういったことをわざわざ言葉では入れなくても、【取組方針】のほうに入っていますけれども、一旦、ここについては事務局のほうで少し整理をさせていただいて、「市民の暮らし」が的確に分かるように、少し文言修正をさせていただければというふうに思います。

以上です。

(朝日会長)

ありがとうございます。この1番目のところも検討対象ということで、お願いをいたします。

福永委員、お願いいたします。

(福永委員)

今、大塚委員のほうからありましたように、この全体の部分というのが「行政運営」のところと随分かぶるのかなと。ここを「市民の暮らし」というところで【目的】を出すのであれば、もう全く表現を違えてもいいのかなと、そのように思います。「公正・公平を遵守し」というのは、もう「行政運営」の中に入っている文言なんだろうなという気がします。

あと、先ほど篠原委員のほうからございましたけど、今回初めて見るようなテーマが出てきていたんで、「教育」とかというのが、教育、学校教育について何か話したことがあったかなとか、失念していると大変申し訳ないんですけど、「行政運営」、「収益事業」というこの並びもストーリーがあるということですけど、もうちょっと行政として政策の中に盛り込みたいところは、この流れの中に無理やり織り込むのではなくて別建てでもいいのではないのかなという、見たときの感想ですけど、そのように思いました。

以上です。

(朝日会長)

ありがとうございます。

こちらについても、御指摘の意図で検討というところでよろしいでしょうか。

(渡貫企画政策課長)

あくまで政策といった、この後に全ての事業がぶら下がるということが前提になっていますので、書いてないことの事業ができなくならないような形で、政策の分野では市の全体のもの網羅されるような形の政策分野と今回は設定させていただいているところなので、これまでちょっと議論が出てきていない競輪といったところにつきましては、行政運営といったところも補足させて今回はお示しさせていただいたところでございますので、御理解のほどをよろしくお願いいたします。

(朝日会長)

ありがとうございます。

宮本委員、お願いいたします。

(宮本委員)

今のお話にも関連するんですが、全ての施策がぶら下がるというようなお話で、私、この13を見ていて感じますのは、この話は何部のことだな、これは何部だなんて、大体、部が想像できるんですが、そういう観点からすると、いつもどこの部にも属さない施策になるのが選挙管理委員会事務局の行っているような主権者教育、投票率向上に向けての取組のようなことがどこにぶら下がるのかなって分からなかったんで、ここにどうしてもそれを表現してくれというのは難しいのかもしれませんが、次の施策の段階では抜けないようにしていただきたいな、そういう要望を申し上げます。

(朝日会長)

ありがとうございます。全ての施策がぶら下がることをここでどういうふうに表現できるかというところに尽きるんですけども、そこがうかがえないような形にはならないようにということと、実際にいうところでは落ちてないですよねというところの御確認ですね。ありがとうございます。

ほかにはございますでしょうか。

それでは、御意見をたくさんいただいたところで、本当にここは難しいところで、先ほど田所委員が言われたように、本当に事務局に頑張っていただくところになるかと思えます。いろいろ御意見いただきました。キーワード、文言として出てくるかどうかということと、あと、考え方としてそれがきちんと含まれるような表現になっているかどうかということと、所管のところともまた御相談いただいたりすることになるかと思えますが、御指摘いただいたところの検討を事務局にお願いしてということになるかと思えます。

これでこの部分の8ページから10ページまでのところの御意見をいただきました。それでは、こここのところについての意見交換は以上とさせていただきたいと思えます。前半後半と様々な御意見をいただいたんですけども、最終的な取りまとめにつきましては、今回は第6回で意見交換をする最後ということになっておりますので、そのところの取りまとめについては会長一任というところでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、答申書の最終的な取りまとめについてはそのように取り扱うこととさせていただきます。

続いて、今後の答申書の取扱いについて、事務局から御説明をお願いいたします。

**(渡貫企画政策課長)**

ありがとうございます。

まず、こちらの答申書の11ページについて、氏名、所属等に誤りがないか、御確認をいただきまして、もし誤りがありましたら、後ほど事務局のほうにおっしゃっていただければと思っております。

続きまして、今後の答申書の取扱い及び第5次長期総合計画策定のスケジュールについてでございます。こちらにつきましては、本日、当日配付資料として置かさせていただきました資料に基づいて御説明させていただきます。「第5次長期総合計画策定スケジュール」といった一枚ものでございます。こちらのほう、ありますか。

今回、基本構想について、また、基本計画につながる御意見も様々いただいたところでございます。第6回長期総合計画審議会が終わった後、議会のほうにも逐次、今、特別委員会を設置して議論のほうを深めていただいているところでございます。6月議会には、今回、お示ししている答申を含めた、答申を構想に落とした資料5になるんですけども、資料5の形でお示ししていくというふうになってございます。

今日の内容・意見を含めた答申につきましては、修正を朝日会長に一任後に、2週間か3週間程度をめぐりに、再度、皆様のほうに答申書をメールでお送りさせていただいて、御確認をいただく予定でございます。その後、6月中下旬をめぐりに、会長から市長へ答申を行っていただきまして、答申を基に市長が「未来ビジョン」を策定してまいります。

9月議会のほうには、素案という形で、本答申書及び第5次基本構想素案を報告させていただきます。パブリックコメントを経て12月、または3月の市議会で基本構想を議決する予定となっております。

第5次長期総合計画の策定に当たりましては、本答申書の内容を十分に尊重しながら、今後、基本計画の検討なども進めてまいりたいと思っております。

こちらについての説明は以上となります。

**(朝日会長)**

今後の進め方と、まだまだ長いプロセスがございましたけれども、御説明いただきました。ありがとうございます。

**(2) 第5次基本構想素案概略**

**(朝日会長)**

続いて、2、審議事項の(2)のほうに進みたいと思います。「(2) 第5次基本構想素案概略」に進みます。

これについて、事務局から御説明をお願いいたします。

**(渡貫企画政策課長)**

資料の5です。こちらは、最終的に基本構想の案となるものでございます。今回、皆さんに御審議いただいた答申の内容を反映して、市として案をつくり上げていくときにこういう形を、今、想定してございます。

ページをめくりまして、「第1章 私たちがめざす未来の立川」ということで、今回、基本構想の示し方といたしましては、まず第一に市民に我々が示したいものを最初に大きく見せていったほうがいだろうということで、「未来ビジョン」と「まちづくりコンセプト」を計画の一番最初に持ってこようという形で、今、構成を考えてございます。

その後「第2章 長期総合計画の位置づけ」であったり、「第3章 立川市の現状と展望」、「第4章 未来ビジョン実現のために（政策方針）」、先ほど御議論いただきましたが、これは第4章で記していくというような、今、目次立てをさせていただいているところがございます。

なので、若干、これまでの長期総合計画との章立てが変わってございまして、通常ですと、第2章の位置づけ、現状と展望というところから出すんですけども、今回はあくまで一番市民に訴えたいところを第1章を一番最初に持っていくというような構成の中で考えているところがございます。

こちらの内容につきましては以上でございますので、こういった構成についても御意見がありましたらよろしく願いいたします。

以上でございます。

**(朝日会長)**

ありがとうございました。

先ほどの資料2の答申のほうは我々の審議会で責任を持って出すものなんですけれども、資料5の、今、御説明いただいたほうは、それを受けて市として説明するための資料ということで、答申で御議論いただいた皆様に分かりやすさの点でアドバイスいただければというところの御趣旨かと思えます。市民にとって分かりやすい計画書となるためには、今、御説明いただいたようなお考えでこういう資料になっているんですけども、何か御意見、コメント、御感想いただければと思えますがいかがですか。

平澤委員、お願いいたします。

**(平澤委員)**

市民の1人としてこれを見たときに、結構、横文字が多いんですよ。GXだとか、DXだとかデジタルデバインド。これって分かる方は当然分かるでしょうけど、結構、お年寄りの方は分からないんじゃないかなと思っているんです。だから、この言葉を使いたかったらちょっと説明書きをつけて(GX)とか、そんなふうにかかれたら分かるんじゃないかなと思うんですね。

以上です。

**(朝日会長)**

ありがとうございます。特に後半が多いですかね、政策のところ。

ほかにはございますでしょうか。田所委員、お願いいたします。

**(田所委員)**

今、事務局が出していただいた構成が一番いいんじゃないかと思う。なぜならば、厚くなればなるほど読まなくなるというのが一般的な市民のところだと思いますんで、最初のところで何が一番というのをまず言っちゃう、まず最初にそれだけ読んで、ちょっと興味があれば、次、行こうかなみたいになるかと思えますんで、ぜひ一番言いたいことを先に持っていくというのは大前提でやっていただければと思います。

以上です。

**(朝日会長)**

貴重な御意見、ありがとうございます。

ほかには何かお気づきの点あればお願いします。福永委員、お願いいたします。

(福永委員)

素案のほうの「収益事業」について。立川の場合、競輪の収益。そうすると、財政の云々という表現の中で、多分、施策って入ってくると思うんですけど、そこに結構細かく「KEIRINGランプリ」とか、「積極的な誘致」とか、「経営戦略方針に基づいた」って、かなり施策的なところがここに表現としてあるということ、せつかくその前まで、政策方針の中で夢と希望を語っていたのに、突然、ここで現実、かなり生々しい現実に戻されてしまうのではないのかなと思います。

それと、この「収益事業」というのは、この柱としては出ないんであっても、何かちょっと別の形で埋め込んだほうがいいのではないのかなという気がします。

(渡貫企画政策課長)

ありがとうございます。

ほかの政策とのレベル感とかがありますので、そこについてはちょっとそろえていくような表現に修正をしていくようにしてまいります。

(朝日会長)

ありがとうございます。

ほかには。辻本委員、お願いいたします。

(辻本委員)

12ページのところで、「3 社会潮流の変化」で、「多様性を尊重する社会の実現」の中の「子どもの権利」の部分なんですけど、多分、こども家庭庁とか「こどもまんなか社会」は、これ、平仮名に合わせていただいている、これは構わないですけども、ほかは全体的に、多分、漢字の「子」に「ども」って平仮名で統一していただいているんだと思うんですけど、その枠の中に1か所だけ「子供の権利を守る」のところが漢字になっていて、ほか、全体、多分、統一されるんだとしたら、ここは表記を直していただいたほうがいいなと思いました。

(渡貫企画政策課長)

ありがとうございます。まだ表記のところで結構ばらつきがありますので、その辺は精査してまいりたいと思ってございます。

(朝日会長)

ありがとうございます。

ほかにございますか。甲野委員、お願いいたします。

(甲野委員)

単純な疑問なんですけれども、この2ページです。「未来ビジョンを概念的に表したイラスト」ということですが、これ、これから作るということでしょうか。

(渡貫企画政策課長)

これからです。

(甲野委員)

今、オニ公園とか立川駅前のもがあると思うんですけども、どのようにお作りになるんですか。プロのデザイナーの方たちをお願いをするんでしょうか。分かりやすくて非常にいいと思うんですけども、これによってイメージがかなり引っ張られるようなものなので重要になってくるのではないかと思います。ですから、1ページ取るのであれば、せめて後ろに入れ込むとかしたほうがまだ分かりやすく、親しみやすくなるのではないかなと。

すみません、これ、個人の感想なんですけど。誰がデザインするかだけ教えていただけますか。

**(渡貫企画政策課長)**

こちらのほうは、今、本基本構想のほうをサポートしていただいている委託業者がありますので、そちらにデザインのほうはお願いしていく形でございます。イメージがなかなか、まだ固まってございませんので、そこはこれからいいイメージを、市長もビジョンをちょっとつくっていくんだと思いますので、そこに合った形のいいイメージを。また、ここに皆様から、今回、御答申いただいたビジョンの基本理念がありますので、そういったことも踏まえた中でいいイメージ図になるような形でちょっとお願いしていこうと思っています。

以上です。

**(甲野委員)**

ぜひコピーでイラストを貼りつけるのではなくて、オリジナリティあるものであればなおすばらしいものになるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございます。

**(朝日会長)**

ありがとうございます。冒頭の分かりやすさの部分と、さっきの御意見もありましたけど大事なところですね。御指摘ありがとうございます。

ほかにもございますか。一旦、よろしいですかね。

ありがとうございます。それでは、この素案概略についての意見交換は以上としたいと思います。

### 3 その他

**(朝日会長)**

これで議事が終わりましたので、最後に次第の「3 その他」について、事務局からお願いをいたします。

**(渡貫企画政策課長)**

ありがとうございました。立川市長期総合計画審議会は本日が最終回となります。約半年にわたり、御熱心な御議論いただき、誠にありがとうございました。

答申書につきましては、朝日会長から直接、酒井市長に御提出をいただきます。日程が決まりましたらメールでお知らせをいたしますので、委員の皆様も、お時間、都合がつかまりましたら、ぜひ御参加をいただきますようお願いいたします。詳細につきましては、改めてメール等で御連絡をさせていただきます。

それでは、最後となりますが、朝日会長から一言御挨拶のほうをいただきたいと思います。

**(朝日会長)**

皆様、今まで、長きにわたりまして、本当に貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。答申の前段のところにコメントを寄せさせていただきました。本当にこの審議会の中では、この人数、多くの立場の皆様にご参加いただき、本当に毎回、貴重な御意見をいただきありがとうございました。

市民ワークショップのときから、本当に多様な立場の御意見をいただくというところの

大事さというか、面白さというのか、そういうところが本当に大事な局面だなというふうに思っています。前段のところにも書いたんですけども、ここの議論でも出てきたんですが、本当に近年の社会潮流というような話も出てきていますし、いろんなところで本当にいろんな変化がありますよね。コロナにも象徴されますけれども、災害もそうですし、いろんなところで変化が本当に早くて激しいという世の中になってきているなど感じまして、この行政運営、総合計画の在り方とか行政の運営についてというのは、本当にまたそれについていくというか対応するというか、そこが本当に難しい、そして、チャレンジしがいのあるところかなというふうに思っています。

また、私の専門に近いところの行政を評価していく、行政がやっていく政策を評価していくというようなところでも、PDCAを回していきますというようなところのずっとやってきたことから、もうちょっと、お聞きになったことがあるかもしれませんが、OODAというような、アメリカの空軍がやっているような、状況を見ながら順応的に評価をしていって変えていくというようなところだったり、デジタルで言うアジャイルとか順応管理と言われるようなところがかなり関わってきているかなというふうに思っています。

こういう変化が激しいときというのは、皆さんもいろんなところでお聞きかと思うんですが、東日本大震災もそうでしたし、コロナもそうでしたし、いろんな災害でもそうですけれども、社会にあるひずみが非常に大きく出てきてしまうと云いますし、そのショックを契機に、また、格差というんですかね、そういうところが広がってくるようなところもあったりというところが分かってきているというところかと思えます。そういうところが、課題がますます大きくあっていくというところもある面、いろんな人口減少という長期的な課題、構造的な課題もそうですし、緊急の課題もそうですし、あまりに課題だらけで、先ほど篠原先生からもお話がありましたけど、明るい、イメージとして危機管理というところもありました。

課題を共有していく意義というか、よさというか、そういうところもあるとは思いますが、課題があるからゆえに協働だとか共創、共に創っていくというところが進んでいくという、もうこの中でも、ボランティアのニュースなんか私も見ていると、自分の持てる能力だったり資源だったりというのを本当に出し合っていないとたない。もたないという言い方もまたちょっときついですけれども、なかなかいいものを生み出せない、あるいは、解決にならないというふうなところに来ているのかなというふうに思っています。

そういう意味では、みんながいろいろ繋がり合って何かしていくというところもすごく増えてきて、それはそれで新しい解決策だったり新しい価値をつくり出していくという、すごくわくわくする面もたくさんあるなというふうに、皆さんの議論であったり、市民ワークショップであったりということを知っていて思いました。そういうところが本当に何か一緒にであったり、あと、個を尊重しながらであったりというところでやっていけるというところを大事にするような方向の議論というのをいっぱい聞かせていただいて、大変勉強になりましたし、とても期待できると感じました。

この「未来ビジョン」がこれから、この答申を受けて「未来ビジョン」が出てきてということになると思いますので、先ほど御説明いただいたように、この先も議会のお話があったり、長いプロセスを経ていくことになりますので、ぜひこの答申の、皆さんが御意見いただいて、思いをきちんと反映していただいた、まだ事務局に検討いただかなければい

けないところがありますけれども、それがどういった形で「未来ビジョン」に反映されて、施策に反映されていくかというところ、本当にウオッチをしていただければと、いきたいと私も思っています。

本当に大変お忙しいところ、毎回、お集まりいただきありがとうございました。御礼申し上げたいと思います。

以上になります。

それでは、以上で本日の議事は終了しました。

それでは、第6回立川市長期総合計画審議会を閉会いたします。本日も御多用中のところ、誠にありがとうございました。

— 了 —